

立ち位置(バイノーラル収録用) ト書き 皆月綾乃 音響指示

\*無声音との記載が無い箇所はすべて有声音をお願いします

## ■ 1 新人時代の失敗譚

##オナニーしてる旦那の背後に気配を消して出現する

左・密着 「ねーえ。なにをしているのかしら？」

左・近め 「くす……ただいま。別に気配を消していた訳じゃないわ。あなたがナニかに熱中して、大切な奥さんが帰ってきたことにも気づかなかっただけよ」

左・近め

左・近め 「懐かしい……それ、ルーキーの頃に着ていたドレスね。見ての通りボロボロだから、もう使えないのだけど……なかなか捨てられなくて」

後ろ・近め 「……それで。私の思い出が詰まった服を使って、一体なにをしていたのかしら？」

##背後から夫を抱きしめながらちんぽを掴む

右・密着 「……あなた、こんなに大きかった？ 自分で自分を慰めているところを見られて、とても興奮してしまうヘンタイさんだったの？」

右・密着

右・密着 楽し気に 「あっ……ふーん。そうですか。同じヘンタイさんでも、もっとひどいヘンタイさんのね」

右・密着・無声音 ゆっくりと囁く 「自分の奥さんが、昔、ひどい目に遭ったことを想像しながら、おちんちんをおっきくしちゃう……そういう人なんだ」

## ##手コキ開始

右・密着 「くす……情報局でも有名だものね。私がはじめてドジった話……人質を取られて、公衆の面前でストリップさせられたこと」

右・密着

右・密着 「また大きくして……分かりやすい人ねえ。自分の妻が辱められた話が、そんなにお気に入り？」

右・密着・無声音 ゆっくりめで 「(ふーっ、と息を吹きかける) う・そ・つ・き♥ こんなに硬くして、説得力ないわよ」

右・密着・無声音

右・密着・無声音 「なあにい？ まだ言い訳するの？ しょうがないひと……じゃあ、これでどうかしら？」

## ##B G V(羞恥) 開始

右・近め 「ふふ……驚いた？ 当時の動画。私の弱味を握ろうとして、局長が保存していたのよ。元のデータごと盗みだしてあげただけど」

右・近め

右・近め 「ほらほら、ちゃんと見る。大好きな奥さんが、公衆の面前で、一枚ずつ服を剥ぎ取られていくわよ……♥」

右・密着・無声音 ゆっくりめで 「テロリストの目の前で全裸に剥かれるなんて……これからどうなっちゃうのかしらね……♥ 心配？ ふふふ……」

左・近め 「あん、おっぱいがこぼれちゃった……♥ 見て、私の顔。目を閉じて、すん、て澄ましてるけど、眉根がひくひく疼いちゃってる」

左・近め

左・近め 「まだまだルーキーだったから、感情を殺せなかったのねえ。それもしょうがないか」

左・近め 「なにせ大きな劇場だったから……三百人ぐらい人質がいたの  
かな。お爺ちゃんから、小さな子供まで……皆に、見られちゃったんだもの」

左・密着 吐息を多めで（当時の恥ずかしさを思い出しながら語っている感じを出  
して頂けますと） 「あなた、外で裸になったことある？ ないわよねえ。うん……  
当たり前のことだけれど、とっても恥ずかしいのよ、ア・レ……♥」

左・密着

左・密着 吐息を多めで（当時の恥ずかしさを思い出しながら語っている感じを出  
して頂けますと） 「空気がすごく冷たく感じてね……♥ 太ももなんて、ひどく  
スウスウするの。自分の体が、とても頼りなくて……」

右・密着 吐息を多めで（当時の恥ずかしさを思い出しながら語っている感じを出  
して頂けますと） 「首元から、じわって汗が垂れてね、胸とお腹を滑っていくの。  
それを……大勢の人が目で追っていくの……♥」

右・密着

右・密着 吐息を多めで（当時の恥ずかしさを思い出しながら語っている感じを出  
して頂けますと） 「私、服を着ていないんだ……って、イヤでも実感させられたわ。  
すると、だらだら汗が流れてきてえ……♥」

右・密着

右・密着 吐息を多めで（当時の恥ずかしさを思い出しながら語っている感じを出  
して頂けますと） 「また見られちゃう。視線で体をなぞられる……♥ そう思う  
と、ドキドキが止まらなかった。ほら、全身、ゆでだこみたいに真っ赤でしょう？」

右・近め 「そんな状態で、色んなポーズをさせられたの。両腕を後ろ手に  
組んで、おっぱいを突き出せ、とか。見て、こういう感じ」

後ろ・近め 「わっ♥ 私、ちょっと泣いちゃってるじゃない。まあ、全裸で  
お尻を突き出すなんて、辛すぎるものねえ……」

後ろ・近め

後ろ・近め 「あなたとも出逢う前だから、男の経験も無かったのよ？ そ

んな女の子が、公衆の面前でストリップだなんて……」

後ろ・密着・無声音 「あっ♥ まーた硬くして……♥ 私が貶められて、  
そんなに興奮しちゃうんだ。ほんと、しょうがないひと……♥」

## ##B G V(愛撫) 開始

後ろ・密着 「ほーら、私がもっとひどい目に遭っているわよ♥ 人質の前  
で、おっぱいを揉まれてしまっているわ……♥」

後ろ・密着・無声音 「そうよ……♥ あなたのモノになる前の、私の体  
……♥ 我が物顔で掴まれて、力任せにもみくちゃにされて……♥」

後ろ・密着 「気持ち良くない、って、あの頃の私は言っているけれど……く  
す。今なら言えるわね。ほんと、とっても気持ち良かった……♥」

左・近め 「痛いぐらいに揉まれて、おっぱいがぐにゅうって形を変える  
……それだけで、お腹が熱くなってイってしまうぐらい……感じてたの……♥」

左・近め

左・近め 「だって皆の前で脱がされて、全身の感覚がひどく鋭敏になっ  
ていたのよ？ そんな状態で、性感帯を弄られたら……」

左・近め

左・近め 「はしたなく悶えてしまっても、しょうがないでしょう？ 今  
なら、そう言える。でも、当時の私には、認められなかった」

左・近め

左・近め 「テロリストに愛撫されて感じるなんて、どうしようもない変  
態だ……なんて。お馬鹿よね。そんな風に思うと、余計に気持ち良くなっちゃうのに♥」

左・密着            徹底的に、から声をひそめて、ゆっくりと語って頂ければ    「ふ ふ  
……そんなに強情だから、向こうも興奮してしまっただけ。徹底的に、やられてしまったのよ  
……♥」

左・密着

左・密着            「見て、いやらしい姿勢じゃない？ 両足をあんなに開いて、お  
まんことお尻を差し出して……ええ、いわゆるガニ股、ね♥」

左・密着

左・密着            「ふーん、あなたも好きなんだ……♥    じゃあ今度やってあげ  
る。でもあんまり悪戯しちゃダメよ。あの体勢、ただでさえキツいんだから」

左・密着

左・密着            「それなのに、おまんことお尻を好き放題触られてしまって  
……♥    わっ、すごい腰の跳ね方♥    はげしいわぁ……♥」

右・近め            「感じすぎ？    しょうがないでしょ。どこが一番気持ちいいか、  
人質に銃を突き付けながら聞いてくるんだもの……♥」

右・近め

右・近め            「ひどい連中よね……♥    こっちは、感じないように、相手を楽し  
ませないようにって、必死で頑張っているのに……♥」

右・密着            「結局は、彼らの方が立場が上なの……♥    強制的に、全部言わ  
されてしまうの……♥    惨めで、悔しくて、堪らなかったな……♥」

右・密着

右・密着            「皆が私を責めたがったから、体中を男の指が這い回って  
……♥    もう、気持ち良くないところが無かったわ……♥」

右・密着

右・密着            「お尻も、胸も、おまんこも……一番気持ちいいところ、徹底的  
にイジめられて……♥    言い訳できないほどに濡れてしまって……」

右・密着

右・密着            終わっちゃったの、はあつけらかんをお願いします 「クラクラする頭で、なんとか言葉を絞り出して……もう許して……って、そうお願いしようとしたところで……終わっちゃったの」

##B G V 終了

後ろ・近め            「ええ。彼らは私を責めるのに夢中で、突入部隊に全く気付かず鎮圧されてしまったのよ。だから、私のエッチな失敗はここで終わり」

後ろ・近め

後ろ・近め            「な～に～？ 残念そうねえ。もっとひどいことされてほしかった、みたいな顔してるわよ♥」

後ろ・密着            「想像した？ 自分の妻が、任務に失敗して、捕まって、抵抗も出来ず、エッチな拷問されているところ」

後ろ・密着

後ろ・密着            「興奮した？ 自分の手が届かないところで、私が泣いて、喘いで、それでも許してもらえない様子を見て……♥」

後ろ・密着

後ろ・密着            「最後には、惨めに敗北して、あなたのことを裏切って、誰かのモノになってしまう……そんな風に思って……」

後ろ・密着

後ろ・密着            「それで気持ち良くなってしまったのね。ヘン・タイ・さん♥」

##射精

後ろ・密着            「あんっ♥ うわあ……すごく射精たわね。本当に興奮したんだ……」

右・近め            「ねえ。次の任務、わざと失敗して、エッチな拷問されてあげよっか？」

##旦那が振り向く

正面・近め            「だってあなた……私が捕まった姿を想像して、すごく興奮してるじゃない♥」

正面・近め

正面・近め 「あなたが喜んでくれるなら、私は構わないわ。家のことも任せ  
きりだし、なにかお返ししなきゃ、って思ってたの」

正面・近め

正面・近め 「普通にエッチしても、あなたバテバテになっちゃうでしょ？  
まあ、私が体力オバケなのが悪いんだけど……」

正面・近め

正面・近め 「心配しないで。抱かれそうになったら逃げるし。ほら、私最強  
でしょ？ ヤバいなって感じたらすぐに脱出できるもの」

正面・密着 ゆっくりと 「浮気にならない程度に、エッチな拷問を受けて、エッ  
チに悶え苦しんで……最後には絶対、あなたの元に帰ってきてあげる。どーお？」

正面・近め 「ふふ、決まりね。たのしみ～～♥ 最近つまらない任務ばっか  
りだったの。面白くなってきたわ～～！」

正面・近め

正面・近め 「ふふふ。もしかしたら堕ちちゃうかもってぐらい、追い詰めら  
れてきてあげるから……ドキドキして待っててね、あ・な・た♥」

## ■ 2 華僑系グループにて鍼拷問体験

正面・遠め 「ただいま～～っ……て、ちょっと。顔色悪すぎない？ もしか  
して寝てない？」

##足音

正面・中 「も～～ 一回目からこんなじゃ、先が危ぶまれるわよ。あなた  
が元気になってくれなきゃ意味無いんだし……」

正面・中

正面・中 「ん……そっちは元気なんだ。もしかして、禁欲し過ぎて、調子

が悪くなっちゃった感じ？」

正面・中

正面・中 「ふふふ……しょうがないわね。じゃあ早速、はじめましょうか」

##jeeっ……とジッパーを下ろす音

正面・近め 「どこにしようか迷ったんだけどね。今回は、華僑系のグループ  
……分かりやすく言えばチャイニーズマフィア、かな？ そこにしたの」

正面・近め

正面・近め 「ほら、私あの辺の界隈に懸賞金懸けられてるでしょ？ 福建省からのお客さんとか、結構追い返したしさ」

正面・近め

正面・近め 「知らなかった？ ふふふ、あなたの奥さんはねー 世界中の  
わるい奴らから、四六時中狙われちゃってるんですよー」

正面・近め

正面・近め 「今もどこかで、私のことを想像しながら、どうやってこの女狐  
いたぶってやろうか、なーんてシコシコ考えてる奴らが、ごまんといろの」

正面・近め

正面・近め うん、から囁き声で 「そんな連中にもし捕まったら、すごいこと  
されちゃうと思わない？ うん。すごいこと、されてきたわよ……♥」

録音データです 『ふふ……素っ裸の女一人に、随分と人数揃えたものね……そ  
んなに私が怖いのかしら？』

正面・近め 「じゃーん。録ってきたわ♪ 画質はあれだけど心配しないで。  
なにをされてるかは、ちゃんと私が解説してあげるから……♥」

##BGV 緊縛 開始



正面・近め 「まずはね……緊縛。拷問は縛るところから始まってんだ、なんて言うの。期待しちゃうじゃない？」

正面・近め

正面・近め 「縛ってる間は隙だらけだったけれど……完成すると、確かに凄かったわ。両腕なんて、ちっとも動かせなくて」

正面・近め

正面・近め 「しかも、下手に抜けようとする、胸やおまんこに荒縄がギチッ、て食い込むようになっているの。よく考えられてるでしょ？」

正面・近め

正面・近め 「それで、天井からシャンデリアみたいに吊るされちゃうの。その時の連中の満足げな顔、あなたにも見せたかったな……♥」

正面・近め

正面・近め 「まさしく、まな板の上の鯉を見る目つき……♥ 絶対に抵抗できないこの女を、どう料理してやろうか……って、誰もがニヤニヤしちゃってさ……♥」

正面・近め

正面・近め 「わざと、ゆっくり体を小突いたりするのよ。こんな攻撃も避けられないんだぞって、自分の立場を思い知れて、ね……♥」

正面・近め

正面・近め 「かるーく体を揺らされるだけで、堪らなかった……♥ 荒縄でくびりだされたおっぱいがぶるんって揺れて、汗がびちゃちゃって飛び散ってね……♥」

正面・近め

正面・近め 「すごいやらしい光景だったわ……♥ 私のカラダ、こんなにエッチだったんだ……って、自分でもびっくりするぐらいに」

正面・近め

正面・近め 「さっきも言ったけど、縛り方がいやらしいの。重力のせいで、女の急所にぎっちり食い込んでしまって……♥」

正面・近め

正面・近め 「弱いところをずーっと苛めるの。だから、カラダもすっかり出来上がって……汗が噴き出て治まらなかったわ……♥」

正面・近め

正面・近め 「そんな私の髪を掴んで、ゆさゆさ揺さぶってね。もっといやらしい汁をまきちらせ、なんて言いながら……♥」

正面・近め

正面・近め 「縛られた私は、言われるがままに汗を撒き散らした。部屋中が、いやらしい匂いでいっぱいになって……♥」

##どんな匂い？ と問われて、おっぱいを旦那の顔に押し付けて抱きしめる

正面・密着

正面・密着 「ほうら、こんな匂いよ……♥ 感謝してよね。本部にも戻らずに、拷問されたままの体で帰ってきてあげたんだから……♥」

正面・密着

正面・密着 「んっ、ふ……っ♥ 鼻息、くすぐった……あんっ♥ 舐めないでよ、ヘンタイ……♥ 奥さんのこと、もっと労わりなさいー って、こらっ♥ あんっ♥」

##挿入開始 対面座位を想定しています

正面・密着

正面・密着 「もう♥ そういう意味じゃ、無いわよお……♥ 勝手に入れちゃって……んっ、ああっ♥ ふーっ……♥ しょうがないひと……♥」

正面・密着

正面・密着 ##ぱちゅっ、ぱちゅっ、とピストン音(遅めテンポ 70 くらい)を断続的にお願いします

正面・密着

正面・密着 「それでね……♥ たあっぷりお汁を搾り取られた私は、髪の毛の先っぽまでびしょびしょになって……」

正面・密着

正面・密着 「ふーっ、ふーっ……でケダモノみたいに息をしてたの。うん……♥ 今と、同じ感じね……♥ んっふ……っ♥」

正面・密着

正面・密着 「縛りだけで、結構満足だったんだけど……連中は、まだまだ私

を追い詰めるつもりだったの。中国四千年の技術を使ってね……♡」

録音データです 『んっあああっ♡ なっ、なにを……っ、おおっ♡ は、ハリ、  
なんて……っ♡ やめて、もうっ♡ んっ♡ おおおっ♡』

## ##BGV 鍼拷問 開始

正面・近め 「そう……ふっ♡ は、鍼よ。安心して、全然痛くなかったし  
……それどころか、とんでもなく気持ちよかったわ♡」

正面・近め

正面・近め 「ふふ……分かるでしょ？ 私の体が、ドロドロになっちゃっ  
てるの……♡ ぜえーんぶ、鍼のせいなの……♡」

正面・近め

正面・近め 「女のツボって、本当にあるのね……♡ そこを突つつかれる  
と、おおっ♡ 全身があまあく痺れる、ところ……♡」

正面・近め

正面・近め 「鍼がつぶぶって、お乳に沈むだけで……信じられないぐらい  
に感じちゃって……んんっ♡」

正面・近め

正面・近め 「体中が、熱くなって……♡ 汗じゃないお汁が、ぽたたっ、て  
あふれて……♡」

正面・密着

正面・密着 「ごめんなさい……♡ あなたにも知られてない、私のエッチ  
なツボ……ぜえーんぶ見抜かれちゃった♡」

正面・密着

正面・密着 「私を、くまなく解剖するために、宙吊りにしたんだって……そ  
う分かった頃には、なにもかも遅かったわ……♡」

正面・密着

正面・密着 「晒し物にされた私は……♡ 体中の弱い所を、イヤらしい鍼  
で貫かれ続けたの……っ♡ 一つも、残さず、にい……っ♡」

右・近め            ちょっと体を反らして、縄の痕を見せてあげるように            「縄の痕、残ってるでしょう……？ もう、すごく、感じちゃったから、痙攣が、抑えられなくて……♥」

右・近め

右・近め            「んっ……♥ そうやって悶えるとね、また、荒縄が食い込んで、カラダをイジメてくるの……っ♥」

右・密着            旦那の右肩に顎を乗せながら            「ぜーんぶ、作戦通りってワケ……♥ 連中は、ずっとこんなこと、してきたのよ……♥ 長い間、女の子を、捌って、捌って……」

右・密着

右・密着            「そうやって、蓄積された技……流石の私も、どうしようもなかった……♥ あっ♥ はああ……っ♥」

右・密着

右・密着            「最後には、誰が一番感じさせたか、なんて、悪趣味な競争まで、はじめちゃってさ……♥」

右・密着

右・密着            ……あっ♥で仰け反って密着を解除する感じでお願いします 「ここがいいのか。それともここか、ってね……♥ 四方、八方からあ……っ♥ あっ♥ ちょっと、こら……あっ♥」

右・近め            「あ、あなたまで、参加しなくても……っ♥ あっ♥ もお……っ♥ はいはい……♥そこが、感じますよ……っ♥ んんっ♥」

正面・密着            「ふう……っ♥ んん……っ♥ あ、あなたは……こうやって、優しく、してくれるでしょ……？ でも、連中は違うの……」

正面・密着

正面・密着            「感じてる、って……イッてる、って……何度も言っても、全然、許してくれないのよ……♥ だから、私は……っ♥」

正面・密着

正面・密着            「何度もイって……♥ ずっと、イキ続けて……っ♥ そこら中から、いやらしいお汁を、噴き出してえ……っ♥」

正面・密着

正面・密着 「き、聞こえる……？　すごい声をあげて、私が鳴いてる、の……♥　こんなの、聞いたこと、無いでしょ……♥」

正面・密着

正面・密着 「んんっ♥　興奮、してるのね……♥　自分の奥さんが、嬲られて、情けなく喘いでるのが、いいの、ね……っ♥」

正面・密着

正面・密着 「どうしようもないヘンタイさん……♥　でも……私たち、お似合いよね……私だって……」

正面・密着

正面・密着 「あなたのこと、考えながら……エッチな拷問で、何度も何度も、イっちゃったんだからあっ♥　あっ♥　んんん……っ♥」

##射精

##BGV とピストン音終了

正面・密着

正面・密着 「はあーっ……♥　はあーっ……♥　い、今までで、一番、射精たんじゃない……？　ほんとに、ヘンタイ……♥」

##ちょっとの間

正面・中

正面・中 「うん？　鍼拷問の後？　本番しようとしてきたから、全員叩きのめしたわよ」

正面・中

正面・中 「縛られてたけど……両足さえ使えば私、誰にも負けないもの。今頃本部の連中が後片付けしてるんじゃないかしら」

正面・中

正面・中 ##ぐっ、と伸びをする

正面・中

正面・中 「んんーっ……！　ずっと変な体勢で吊られてたから、体がいたーい……っ！」

正面・近め

正面・近め 「ほーら。マッサージ、してよ。奥さんを労わりなさいって言ったでしょー」

正面・近め

正面・近め 「……エッチな意味じゃないから。ちゃんとしてくれなきゃ、怒るわよ」

### ■ 3 人身売買組織にて奴隷調教

正面・中

ンジンするぅ……」

正面・中

正面・中 「ん？ ううん。大したことないわ。はじめましょ？ 私も疼いてるし、ね……♥」

##足音

正面・近め

「今日はね、例の偽 NGO のところに行ってきたの。そうそう、難民扶助団体のフリして、人身売買してるところ」

正面・近め

正面・近め 「ほんと、すぐにやっつけちゃうつもりだったんだけどね。難民の子に銃を突き付けて、脅してくるものだから……」

正面・近め

正面・近め 「うん。エッチなことするのに、ちょうどいいかなって……他の子に手を出した瞬間、すぐに倒すつもりだったの。本当よ？」

正面・近め

正面・近め 「人を淫乱みたいに言わないでくださいー 誰のためにこんなことしてるのか、分かってるのかしら」

正面・近め

正面・近め 「くす……はいはい。いやじゃないってば。前の華僑系も、すごく気持ち良くしてくれたし……」

右・近め

「今回も、初めての快感を教えてくれたんだから♥」

##正面から密着し、旦那の局部をさする

正面・密着 「投降した後、あっという間に脱がされた私は、鎖で天井から吊るされたの。冷凍庫に並ぶ豚肉さんみたいな感じ」

正面・密着

正面・密着 「それからね、あらゆる角度から写真を撮られたわ。お前を売り捌く時に使うんだって……」

正面・密着

正面・密着 「そう。ヤツらね、私を奴隷にして、出荷するつもりだったのよ……♡ きゃあ、だーいピーンチ♡」

正面・密着

正面・密着 「お前を徹底的にいたぶって、従順な女にしてやる……なーんて言うのよ♪ すごく期待できると思わない？」

##鞭の SE

正面・近め 「だからね、普通に鞭打ちが始まった時、正直失望したのよ。こんなので私が従順になる訳ないじゃない」

正面・近め

正面・近め 「苦痛に対する訓練も受けてるし、ていうか元々頑丈だし。あんなの痛くも痒くもないし」

左・近め 「つまんないから帰っちゃおうかな、って思ってたのだけど……連中は、ちゃんと私を楽しませてくれたわ……♡」

##BGV（鞭打ち）

左・近め 「私は強いけれど……女のカラダは強くない。どんなに鍛えていても、弱点が消えてくれないのよ……♡」

左・密着 「そ、ここ♡ 叩き放題の大きなおっぱいと……ダーツの的みたいに、真っ赤な乳首……♡」

左・密着

左・密着 「私、吊るされてるでしょ？ だから、そういうよわあいところ

を隠すこともできないの。それどころか……」

左・密着

左・密着 「お尻をべちって叩かれて、ビクって背を反らしてしまって……♥ そうすると、ね♥ おっぱいが隙だらけ……♥」

左・密着

左・密着 「でも、お乳を隠しそうとすると……あは♥ ああやって、お尻を突き出して、誘っちゃうのよ……♥」

左・密着・無声音

「惨め、だったわ……♥ お前が女である限り、鞭には敵わないって……そんな風に言われている気がして……♥」

左・近め

「こんなの痛くも痒くもない、って余裕の顔してたのに……結局、アンアン啼いちゃってさ……♥」

左・近め

左・近め 「こんな淫乱なら、すぐにでも売り物にできるって……Mの自覚はあるけれど、面と向かって言われると、流石に恥ずかしかったなあ」

左・近め

左・近め 「いくらでも買い手がいるそうよ。皆月綾乃は、裏社会の有名人だから。オークションにかければ、どれほどの値段が付くか分からないんですって……♥」

左・近め

左・近め 「レンタルもありだな、って言ってたわ。私を恨んでる人に貸し出して、毎日イジめさせるんだって。殺さなければなにをしてもいいって条件で」

左・密着

「昔、言い寄ってきた中東の王族とか、壊滅させた傭兵部隊の隊長とか……そういう連中に、調教されて弱り切った私を送り付けるの」

左・密着

左・密着 「くす……ひどい目に遭っちゃうでしょうね。私を憎んでいる人なんて世界中にいるから、終わりなんて来ないし」

左・密着



左・密着 「ギチギチに拘束された私は、やりたい放題にされるがまま。助けなんて絶対に来ない場所で、ずうっと痛めつけられるのよ……」

左・密着

左・密着 「毎日毎日、恨みのこもった鞭を受けて……ボロボロになった後は、一方的に犯されて……流石の私でも、多分耐えられないわぁ……」

左・密着

左・密着 「それで、もしも壊れたら買い取らせるんだって。それでも十分な利益になるから……ちょ、ちょっと。もしかして泣いてる？」

##BGV（鞭打ち）終了

正面・密着 「ご、ごめんなさい。ちょっと意地悪だったわ。大丈夫、大丈夫よ。私はどこにもいかない。みーんなやっつけて帰ってきてあげるから……」

正面・近め 「ね？ 見てよ。あんなにビシバシ叩かれてるのに、気持ち良さそうにしてるだけでしょ？ あなたの奥さんは強い。奴隷なんかにならないから……」

正面・近め

正面・近め 「ううん。ちょっと訂正。あなた以外の、奴隷にはならないから  
♥ ふふふ……」

下・近め 「失礼しますね、ご主人様。今から、たっぷり奉仕いたしますから……」

下・近め

下・近め 「奴隷はね、どんな場所でも奉仕できなきゃダメなんですって。私は手も口もスゴいけど……使ったことない場所、あるでしょ？」

##後背位でのアナルセックス開始

BGV（アナル開発）開始

下・密着 「んん……っ♥ そう……おしり、よ♥ ここでセックスでき

ないと、奴隷としては失格、なんですって……♥」

下・密着

下・密着 「私を、淫乱だと思ったんでしょうね……ほとんど前戯もせず  
に、連中はお尻を責め始めて……♥ 無遠慮に、指でかき分けて……あんっ♥」

下・密着

下・密着 「それで……蹲踞って言うのかしら？ 下品な姿勢よね……♥  
お股を開いて、おまんこを見せつけるような……」

下・近め 激しいピストンに密着が離れる 「あふっ♥ は、激しっ、んん……っ  
♥ もう……♥ 自分の奥さんが、恥ずかしいポーズするの、そんなに好き……？」

下・近め

下・近め 「ちがう、わよ……♥ 私がアンアン啼いてるのは、あのポーズ  
に、興奮してるからじゃ、なくて……」

下・近め

下・近め 「分かる？ 床に、エッチな玩具が置かれてるでしょう？ ほ  
とんど私のお尻に入ってるから、見えないかしら……♥」

下・近め

下・近め 「うん……♥ 私、お尻の経験なんて無いのに……いきなり、デ  
ィルドーでアナルオナニー、させられちゃった♥」

下・近め

下・近め 「ほら♥ 太ももが、鎖でギチチッ、て……あんなにされたら、  
逃げられないでしょ♥ オモチャで、お尻をほじるしか、無くて……♥ ああっ♥」

下・密着 「さ、最近のディルドーって、すごいんだよ……♥ ドリルみたい  
に回転して、お腹の中、ぐりぐりいっ♥ て、掘り進むの……♥」

下・密着

下・密着 「あっふうっ♥ スゴい声……♥ 我慢、できなくて……っ♥  
喉の奥まで、こじ開けられて……っ♥」

下・密着

下・密着 「あは……っ♥ ガクガク震えて……必死で、堪えてるの♥  
だって、姿勢を崩したら、もっと奥まで、されちゃうでしょう……？」

下・密着

下・密着 「私は、我慢するんだけど……連中が、許してくれなかったわ……♥ さっきよりも、もっと無防備になった、お乳や、おまんこを……んんっ♥」

下・密着

下・密着 「私を倒して、お腹の奥までかき回してやろうって……♥ 奴隷女の尻穴を、徹底的に開発してやろうって……♥」

下・密着

下・密着 「叩かれる度に、どんどん、力が抜けて……っ♥ ずぶぶっ、て太いのが、お腹の中に埋まっていて……♥」

下・近め

下・近め 「お、ほおっ♥ ど、どうなったか、なんて……っ♥ 分かるでしょ……？ このお尻、見たら……♥」

下・近め

下・近め 「開発、されちゃったのよお♥ おまんこみたいに、感じるう……っ♥ セックス用の穴に、なっちゃったのお♥」

下・近め

下・近め 「お、お尻でエッチが出来れば、んふっ♥ 一度に、二人を相手にできるだろうって……」

下・近め

下・近め 「ふうう……っ♥ お前のまんこを、増やしてやるって、そういう、つもりだったみたい……っ♥」

下・密着

下・密着 「んっ、ああっ♥ お、大きく、なって……♥ また、想像しちやった……？ 私が、大勢に、使われている、ところ……♥」

下・密着

下・密着 「悪い男に、サンドイッチにされて……抱き潰されちゃう、ところ……んっ♥ あああんっ♥」

下・密着

下・密着 「も、もちろんよ……♥ どの穴も、どのおまんこも……誰にも、渡さない♥ すべて、すべて……あなただけのモノだから……♥」

下・密着

下・密着 「私は、皆月綾乃は……あなただけの、奴隷だから……っ♥ あっ♥ ふっ、ああああ……っ♥」

##BGV 終了 セックス終了

下・近め 「んんっ♥ あ、つう……♥ ふふ……無責任にナマでできるのは、お尻のいいところ、かな……♥」

下・近め

下・近め 「気持ち良かった？ ふふ、当然。デイルドーが動かなくなるまで、お尻でくわえこんできたんだから♥」

下・近め

下・近め 「所詮はオモチャ……あんなものに頼る連中が、私を調教しようだなんて……笑わせるわ」

下・密着

「私を満足させてくれるのは、あなただけよ……♥ ね、ご主人様♥」

正面・近め

「……どこに行くのかしら？ まさかもう終わりなんてことないわよね」

正面・中

「ちょっとあなた？ シャワーなんて早いでしょ。ちょっとお……」

#### ■ 4 製薬会社で媚薬のモニター

##ガチャ、とドアの音 続けて足音

正面・密着 「はあーっ……♥ はあーっ……♥ あ、あなた……♥ 早速だけど、脱いでもらえるかしら……？」

正面・密着

正面・密着 ##ジッパーを下ろし、スーツを脱ぎ捨てる音

正面・密着

正面・密着 「ふふ……すごい匂い、するでしょ？ 甘ったるくて、かぐわしい、とてもエッチな、香りが……♥」

正面・密着

正面・密着 「ここ数日、例の製薬会社の内偵をしてたの。うん、薬機法違反の疑いのあるアソコ。探ってるうちにね、見つけちゃった……♥」

正面・密着

正面・密着 「び・や・く♥ 麻薬に近い中毒性を持つ、とんでもないやつが数十種類も」

正面・密着

正面・密着 「私、薬で気持ち良くなったことないじゃない？ だから、どれだけすごいのか気になっちゃって……」

正面・密着

正面・密着 「その結果が、このザマ♥ いやらしい匂いぶんぶんさせて、そこから中からお汁が止まらなく、なって……♥」

正面・近め

正面・近め 「だから……んんっ♥ なによ……焦らすなんて、ひどい……♥ 奥さんのこと、大切じゃないんですか〜？」

正面・近め

正面・近め 「分かったわよ……ちゃんと報告、してあげるから……♥ しっかり興奮して、私の相手、してよね……♥」

##ベッドに移動し、旦那に寄り添いながら報告開始

##BGV(媚薬投与)

右・近め

右・近め 「あなた、手術って受けたことある？ 冷たいベッドに拘束されて、ライトの光で視界が真っ白に塗り潰されるの」

右・近め

右・近め 「手術台は、拷問に最も適した拘束具、なんですって。どれほど患者が暴れても、逃がさないように設計してあるから……♥」

右・近め

右・近め 「私、薬物耐性あるでしょ？ 連中からしたら、いいモルモット  
だったみたい……♥ 多少無茶しても壊れないから……♥」

右・近め

右・近め 「だからって、いきなりやり過ぎだけどね。人工呼吸器を取り付  
けて、酸素の代わりにガスを流し込むなんて……♥」

右・近め

右・近め 「お口はこじ開けられてるし、お鼻は閉じられないもの。甘い毒  
を、肺いっぱい吸い込むしかなかったわ……♥」

右・密着

「そうやってね、煙製を作るみたいに、体の内側から、ゆっくり  
媚薬で蒸し焼きにしていくのよ……♥」

右・密着

右・密着 「特に、鼻は辛かったわ……♥ 嗅覚って、本能に結びついてる  
のよ。分かるでしょう？ 私のいやらしい匂いに、とっても興奮してるんだから……♥」

右・近め

「くす……私は、今のあなたよりも、ずっとひどい状態だったわ。  
薬の匂いに満たされた途端、鼓動が跳ね上がってね……」

右・近め

右・近め 「涎も止まらなかった……♥ まるで甘い炎で脳が炙られて、  
ドロドロ溶けて溢れてきたみたいだった……♥ 」

右・近め

右・近め 「ぶくぶくっ、て呼吸器の内側で泡が立つのよ♥ それで、窒息  
しちゃうそうになるぐらい……♥」

右・密着

「あっという間に視界が霞んでいったわ。失神寸前に追い込ま  
れて、白目なんて剥いちゃって……♥」

右・密着

右・密着 「あら？ 随分元気ね。私のひどい顔、そんなに興奮する？」

右・密着

右・密着 「ひどいひと。自分の奥さんが、言葉も抵抗も封じられて、体中  
を薬漬けにされているのに……」

右・近め 「でも、いくらあなたのお願いでも、こんな顔はもう出来ないかなあ……」

右・近め

右・近め 「流石の私でも、もう一度アレをされたら、戻ってこられるかどうか……ええ。それぐらい追い詰められたわ……♥」

右・近め

右・近め 「ほら、見て。腕にも足にもチューブが刺さって、媚薬をドクドク流し込まれているでしょう？」

右・近め

右・近め 「全身の血が、媚薬と入れ替わっちゃうんじゃないかってぐらいに……♥」

右・近め

右・近め 「薬が注入される度、体の中がぐつぐつ煮え立って……あは♥すごい腰の跳ね方……♥」

右・近め

右・近め 「やられてる最中は、なにがなんだか分からなかったから……♥ あんなにビチビチ悶えてたなんて、知らなかったわ……♥」

右・近め

右・近め 「媚薬を流し込まれる度に、体中からお汁が噴き出て……私の体が、中身が、造り替えられていく……」

右・密着 喘ぎは無しで、心から優しく語り掛ける感じで 「ええ。さすがにマズいって思った……だからね、私、あなたのことばかり考えていたの。絶対に自分を見失わないように」

右・密着

右・密着 喘ぎは無しで、心から優しく語り掛ける感じで 「任務のこととか、使命感とか、全部蕩けて消えていくけれど……でも、あなたのことだけは忘れなかった」

右・密着

右・密着 喘ぎは無しで、心から優しく語り掛ける感じで 「絶対にあの人の元に帰るんだって……その想いだけは心に残って、私を支えてくれた……」

右・密着

右・密着 喘ぎは無しで、心から優しく語り掛ける感じで 「だからこうして、抱き合っているの。どれだけ媚薬に漬けられても、心までは犯されなかったから……」

右・密着

右・密着 「まあ、心以外はメチャクチャにされたんだけど……♥」

録音データです 『んっ、おっ♥ おおおっ♥ わ、わたしは……スパイなんかじゃ……っ♥ ふっ、うおおお……っ♥』

右・密着 「ん……っ♥ ね、あなた……♥ 悪いのだけど……ちょっと、私の体を……はあっ♥ あっ♥ ありがと……っ♥」

##旦那からの愛撫開始

##BGV（焦らし責め） 愛撫のくちゅ音開始

正面・密着 「ふーっ……♥ ふーっ……♥ いいえ、媚薬のせいだけじゃ、無いわ……連中、本当に最低でね……」

正面・近め 「いいえ、逆よ……♥ なにも、しないの。私の体を、あんなにしといて……♥ ほったらかしにするの……♥」

正面・近め

正面・近め 「ニヤニヤしながら、なにかしてほしいのかな？ なんて……んんっ♥ 本当に性根の悪い、だから理系って嫌いなよ……♥」

正面・近め

正面・近め 「あら、あなたも、そうだったかしら……♥ ごめんなさい。お仕置き、してくれても、いいのよ……？」

##指責めが激しさを増す。これ以降、旦那が積極的に愛撫をするので、立ち位置が頻繁に変わります。

正面・密着 「あっ♥ ふうっ♥ ああんっ♥ い、イク……イツ、んんん……っ♥ はあー……っ♥ はあーっ……♥」

正面・密着



正面・密着 「んっ♥ ふふふ……力任せな、指……あなた、意外と男らしいのよね……そういうところ、すきよ……♥ だいすき……♥ (ちゅっちゅっ♥)」

正面・近め 「それに比べて、あの変態科学者たちは……んっ♥ やることが、いやらしいのよね……♥」

左・近め 「おへそのあたりに、ふうっ、て息を吹きかけたり……♥ わき腹を、つんっ、て突っついたり……♥」

左・近め

左・近め 「そうやって、私がビクビク悶えるのを、面白がるのよ……♥ 挙句の果てには、イかせてほしければ、情報を……なんて」

左・近め

左・近め 「日本一のエージェントを、舐めないで、ほしいわよね……♥ こんな、くだらない拷問に……んんっ♥」

左・密着 「ほ、本当よ……♥ なにも、言ってませんー……♥ あなた、私のこと、どうしようもない、淫乱だと思ってない……？」

左・密着

左・密着 「むう……♥ 言っておきますけど、こんな姿見せるのは、あなただけなんだから。普段の私は、凄腕スパイなのよ……♥」

左・密着

左・密着 「ほら。私の勇姿を見てよ。必死で耐えてるでしょ……♥ カラダは、爆発寸前なのにさ……♥」

左・密着

左・密着 「んんんっ♥ こ、これでも、随分治まったのよ……？ おっぱいとか、全然違うでしょ……？」

左・密着

左・密着 「なんだか、ちょっと膨らんで大きくなってるし……♥ 乳首なんて、ツン、て尖って……あっ♥ だめっ♥ んああ……っ♥」

左・近め 「さ、触る時は、先に言ってよ……♥ 見たでしょ……？ ブラ

シで、こしょこしょ、されてるところ……♥」

左・近め

左・近め 「すごく敏感になっちゃった乳首を……やわらかーい毛先で、  
すりすりイジメられて……狂いそうになっちゃってるの、見てたでしょ……♥」

正面・近め

「あんなになるまで焦らされたんだからあ……もっと丁寧に触  
ってあげてくださいー♥ 乱暴に、ああっ♥」

正面・密着

「もっ、そういう意味じゃっ♥ んあっ♥ 強く、しないでっ  
たらあ……♥ あっ♥ だめっ♥ いッ、んんん……っ♥」

正面・密着

正面・密着 「ふう、ふう……っ♥ もう、調子に乗っちゃって……♥ この  
間のこと、根に持ってるのかしら？」

正面・近め

「だって、せっかくお尻を使えるようにしたんだから、たっぷり  
愛してもらいたいじゃない？」

正面・近め

正面・近め 唇を尖らせて、ぱつが悪そうに 「……まさか気絶しちゃうなんて、  
思ってたのよ」

右・近め

「ん……っ♥ そう、ね……今日も、たっぷり、してほしいわ  
……♥ だってほら……こんなに、なってるのよ……？」

右・近め

右・近め 「おかしい、でしょ……♥ カラダが、変になっちゃって……お  
尻からも、エッチなお汁が溢れるようになっちゃった……♥」

右・近め

右・近め 「こんな反応、見たことないって……お尻の穴を、かき分けて、  
お腹の中まで、じっくり観察されちゃったわ……♥」

右・近め

右・近め 「は、恥ずかしいに、決まってるでしょ……♥ でも、そんな余  
裕無かったから……んっ、ああっ♥」

右・近め

右・近め 「な、なに……？ 嫉妬、してるの？ もちろん、あなたにも、  
見せたこと無いけど……んっはあっ♥ 」

右・密着 「こ、こらっ♥ なにするのよ、ダメって言って……あふうっ♥  
し、舌っ♥ 舐めるっ、なんてえ……♥」

右・密着

右・密着 「んおっ♥ んふっ♥ イっ、イック……♥ イクウ……っ♥  
ふっ、んんん……っ♥ んあっ♥ あっ、はあっ♥」

正面・密着 「だめっ、ダメよ……っ♥ もういったから、ああっ♥ す、少  
し、休ませてっ♥ あふっ♥ くっ、ふううっ♥」

正面・密着

正面・密着 「んんんっ♥ だめっ♥ だめえっ♥ イクッ♥ またイクう  
っ♥ 」

下・密着 ふうーっ……！は喘ぎ声ではなく、気合を入れなおす感じで  
「んふっ♥ ふうーっ……♥ ふーっ……♥ ふうーっ……！」

正面・近め 「……さて。言い訳があるなら、聞いてあげるけど？」

正面・近め

正面・近め 「ええ。妻の弱味につけこんで、好き放題に体中弄ったことに対  
する言い訳。聞かせてみなさいよ」

正面・密着 「ふふ……楽しみだわ。ここまでしたからには……この間より  
も、もっと楽しませてくれるのよねえ。あ・な・た♥」

## ■ 5 因縁の上司にセクハラ尋問

##扉が開く音

正面・中            今まで一番弱った状態            「はーっ……♥    はーっ……♥    ん、んん  
……っ♥    た、ただ、いま……あっ！」

正面・密着                            「ご、ごめんなさい……体に、力、入らなくて……」

正面・密着

正面・密着                            「は、はは……私としたことが、やっちゃったわ……♥    んっ、  
んん……っ♥    まんまと、引っ掛かっちゃった……」

右・近め                            「軽い審議会……そういう名目だったの。私、最近、よく捕まる  
じゃない？    流石に上に目を付けられちゃってね……」

右・近め

右・近め                            「ちょっと怒られるぐらいだと思って、ノコノコ行っちゃった  
のよ……あっ♥    ま、まさか、あのひとの罠だったなんて……」

右・近め

右・近め                            「そう、局長。あの人、私に随分ご執着だったから。結婚した時  
なんて、ひどかったでしょう……？」

右・近め

右・近め                            「んん……っ！    今回も、いろいろと手を回してくれた、みたい  
……まさか、身内から拷問のフルコースを喰らうなんて、思ってたわ……」

右・近め

右・近め                            「んんっ♥    まだ、余韻が……っ♥    だ、大丈夫……別に、ケガ  
はしてないから……」

右・密着

「心配なら、そばにいて。私のカラダ……んっ♥    そ、そう……  
っ♥    はあっ♥    や、やさしく、して……♥」

##お互い抱き締め合って、旦那のちんぽが腰に当たる

右・密着

「んっ、んん……っ♥    ん……？    んんん～～？    ……なあに、

これ？ 今までで、一番、興奮してない……？ なるほど、なるほど……」

右・密着

右・密着 「あのひと、だから？ ずっと私を狙っていた、あの変態局長だから……私を思い切りいたぶってくれると思って……」

右・密着

右・密着 「そんなこと想像して、こんなに硬くしてるんだあ……♥ 本当、変態なんだから……♥」

正面・近め

正面・近め 「ん。しょうがないわね……まんまと釣りだされた私は、拷問室に連行されたの。そんなのあるなんて知らなかったわ……」

正面・近め

正面・近め 「きっと、私をいたぶるために作らせたのよ……♥ 国民の税金をなんだと思ってるのかしら」

正面・近め

正面・近め 「そこで私を待っていたのは、局長だけじゃなかった」

正面・近め

正面・近め 「手柄を横取りされたって、私を逆恨みしてる同期のエージェント。汚職を暴いた天下りの役人……」

正面・近め

正面・近め 「ふふっ、私の仇を集めるだけ集めましたって感じ……あなたの期待通り、局長は私を徹底的にイジメ抜くつもりだったのよ……♥」

##BGV(セクハラ)

正面・近め

正面・近め 「ん……っ♥ 厄介なのは……全員が、組織内部の人間ってこと。診断書も報告書も、全部チェックできるのよ？ つまり……」

右・近め

右・近め 「今まで受けた、拷問も……その後遺症も、知っているの……私の、弱い所、ぜえーんぶ狙い撃ちにできるってワケ……♥」

右・近め

右・近め 「ここは、媚薬漬けで、感度がおかしくなってる、とか……♥  
ここは、たくさん、ほじられて、二つ目のおまんこになってる、とか……♥」

右・近め

右・近め 「わざわざ、口で言い聞かせてね……♥ 拷問された時のこと、  
思い出させながら……念入りにいたぶってくるの、よ……♥」

右・密着

「はあー……っ♥ はあーっ……♥ ふ、ふふ……どこかの、誰  
かさんみたいじゃない？」

右・密着

右・密着 「私も、そういうやり方に、とことん弱くなっちゃってるからね  
……♥ あ、ん……っ♥」

右・密着

右・密着 「信じられないぐらい、ビクビク、感じちゃって……♥ 随分、  
バカにされちゃったわ……」

右・密着

右・密着 「あんなヤツらの指で、泣きたくは、なかったんだけど……ん  
んっ♥ この体じゃ、意地を張っても、無駄で……♥」

右・近め

「そうね。あなたの、せいかも……♥ ふっ♥ 普段の私なら、  
あんな連中になにされたって、眉一つ動かさないけど……」

正面・近め

「ちょっと、おかしく、なっちゃったから……♥ 局長に、おっ  
ぱいを揉まれて、イクぐらい、には……っ♥」

正面・近め

正面・近め 「ふーっ……♥ ふーっ……♥ あ、あの人も、根に持つタイプ  
だから……ねっとり、しつこく、やられちゃった……♥」

##胸を押し付ける

正面・密着

「おっぱい、ね……♥ 新人の頃より、随分と大きくなったらし

いわ……ずっと見てたから、分かるんですって……♥」

正面・密着

正面・密着 「お尻も、んんっ♥ あなたとした日は、いつも、におっていた  
んですって……♥ ずっと、追いつけていたって……っ♥」

正面・密着

正面・密着 「救えない、人よね……♥ 工作中も、ずっと私を犯すことばかり、  
考えていた、なんて……♥」

正面・密着

正面・密着 「でも、私は……そんな人の、玩具にされて……んっ♥ 体中を、  
弄ばれて……うう、んん……っ♥」

下・密着

「うん……♥ 凄く、効いたわ。やっぱり……恨みのこもった拷問が、一番、効くのよね……♥」

下・密着

下・密着 「嫉妬とか、愛憎、とか……そして悪意。そういう感情を、ぶつけられると、心に直接、響くから……」

下・密着

下・密着 「あのひとたち、躊躇、しないでしょ……？ 弱くなったお尻とか、おっぱいとか、容赦なく、イジめてくる、から……」

下・密着

下・密着 「んっ、んんん……っ♥ うん。うれしい……♥」

下・密着

下・密着 「あなたに舐められる度……あのひとたちにされたこと、全部、溶けていくみたい……♥」

下・密着

下・密着 「ね、きて。ほしいの。そのまま、私を……んっ♥ ふううう……っ♥」

##抱き締めながら、正常位でのセックス開始  
(適宜ばちゅばちゅピストン音お願いします)

##セックス開始

左・近め

「んんっ♥ あ、熱い、でしょう……？ かなり、激しく、され

ちゃったから……♥」

左・近め

左・近め 「ふふっ、ドキッとした……？ だいじょうぶ♥ ここまでは、  
されてないから……」

右・近め 「まあ、ここを、絶対渡さない代わり……他は、手ひどく、やら  
れてしまったけれど……♥」

### ##BGV(快樂電流)

右・近め 「は、始まった、かしら……？ 今までで、一番の、悲鳴でしょ  
……♥ 私をここまで追いつめるなんて、局長、結構やるわよね……」

右・密着 「コードが、見えるでしょ……？ そう、電、気……っ♥ びり  
びり、されちゃったの……♥ んんっ♥」

右・密着

右・密着 「痛くはなかったわ……♥ あの声を聞けば、分かるでしょう  
……？ ただただ、気持ちいい、だけで……っ♥」

左・近め 「一撃、よ……♥ 一撃で、イってしまったの……♥ ブルブル  
震えて、潮まで噴いちゃって……♥」

左・近め

左・近め 「スパイをして長いけど……こんな拷問、見るのも、されるのも、  
はじめてだった……♥ 当然、よね……♥」

左・密着 「私のために、開発したんだから……♥ 私を、最も効率的に苦  
しめて、屈服させるために……♥」

左・密着

左・密着 「皆月綾乃のデータを、全部調べて……んんっ♥ どこに、どん  
な刺激を与えれば、一番効くのか……理論を組み上げて……っ♥」

左・密着

左・密着 「それで、作り上げたん、ですって……♥ 本当、国民のお金、  
なんだと思ってるのかしらね……♥」



正面・近め 「んんっ……♥ なにか、説明していたけれど、覚えていないわ……っ♥ もう、そんな余裕、無く、て……♥」

右・密着 「おおっ♥ 恐ろし、かった……っ♥ こんな身近に、一番の敵が、いるなんてえ……♥ しかも、逆らえ、ないし……っ♥」

右・密着

右・密着 「い、言われたわよ……っ♥ 抵抗すれば、あなたの身に、危険が及ぶと……っ♥ 妙なこと、考えるなって……っ♥」

正面・密着 「はーっ♥ はーっ♥ あ、足枷、だなんて……んんっ♥ もうっ♥ まーた、興奮してえ……♥」

正面・密着

正面・密着 「反省しなさいー♥ あなたを人質にとられて、私はあんな目に遭ってるのよ？ 一番の弱味を握られて、いいように、いたぶられてるのよお……♥」

左・密着 「もう、勝ったって思ったんでしょう、ね……♥ 私が、あなたを、見捨てられるワケ、ないから……♥」

左・密着

左・密着 「だから……あ、あのひとつたら、調子に乗っちゃって……♥」

左・密着

左・密着 「ヒモみたいな、水着もってきて……今度から、これがお前の衣装だ、なんて、んんっ♥」

##興奮してピストン音が早めになる

右・密着 「ら、乱暴、しないの……♥ 今度、着てあげるから……♥ あっ♥ ああんっ♥ ほ、他っ♥ 他、にも……っ♥」

右・密着

右・密着 「しょ、娼婦として、潜入させるとかつ♥ 仕事終わりは、局員にも、奉仕させるとかつ♥ そっ、そんなこと、ばかり……っ♥」

正面・密着 「て、抵抗、したわよお……♥ その結果が、この悲鳴、じゃない……♥ 本当に、辛かったんだからあ……♥」

正面・密着

正面・密着 「休み無しで、責められてえ……エロ親父の、妄想、聞かされてえ……♥ もう、クタクタに、なったところで……」

正面・密着

正面・密着 「離婚しろ、ですって♥ んんっ♥ あの人専属の、エージェントになれって……っ♥」

正面・近め

「最初っから、それが、目的、だったのよ……本当、救えない人……♥ んっ♥ んん……っ♥」

右・密着

「ほーらー、ちゃんと見るー♥ 私、ボロボロ、でしょ……？ お汁も噴いてえ……♥ 痙攣、止まなくて……」

右・密着

右・密着 「あんなに拷問されても、屈しなかったのよ……♥ あなたへの愛を、貫いたのよ……♥」

右・密着

右・密着 「ほーらー♥ あなたの、最強の奥さんになにか言うことあるわよね♥ あーるーわーよーねー♥」

正面・密着

「(ちゅっ♥ ちゅっ♥) んふふ……♥ わ・た・し・も♥ だあいすき。あいしてるわ、あなた……♥ 」

正面・密着

正面・密着 熱い吐息とキスを7、8秒ほどお願いします 「はーっ……♥ はあっ、あああ……っ♥ んっ (ちゅっ、ちゅっ♥) ふっ♥ あっ♥ あああ……っ♥」

正面・密着

正面・密着 「イ、イクッ♥ イ、クう……♥ おねがいつ♥ きてっ♥ きてええっ♥ あふっ♥ んんんんん〜〜〜っ♥」

##射爆了 セックス終了

右・密着 「はあーっ……♥ はあーっ……♥ ふうーっ……♥ ふうーっ……」

右・密着

右・密着 「……ふふっ。んふふっ、ふふふ……なーにいよー♥ くすぐったいー♥ もー、甘えん坊さんねえ……」

右・密着

右・密着 ゆっくりと言い聞かせてあげてください 「そんなに強く抱き締めなくても、どこにもいかないわよ。私はあなたの奥さん。最強で、かわいくて、自慢の奥さん。でしょう？」

##抱き締め終了 少し離れる

右・近め 「ああ局長？ 背任罪で逮捕されたわよ。他の連中も一緒に」

右・近め

右・近め 「私のことを恨んでいる人は多いけれど……それ以上に、助けてくれる人は多いの。これも人徳ってやつね」

右・近め

右・近め 「後任はもう決まってるわ。うん。この世界で……私を従わせることが出来る、唯一の人間」

中央・近め 「その人に頼まれたら……娼婦になって潜入捜査もするし、エッチな水着でも出勤しちゃう。それぐらいの絶対的な人……♥」

中央・密着 ##旦那の首に腕を絡めて 「さあ、局長。今度はどこに潜入して、なにをされてきましょうか？ もちろん、最後には帰ってくるから……」

中央・密着

中央・密着 「おかえりって言って。誰よりも気持ち良くして。そして……たっぷり愛してね、あなた……♥」